

JICA二本松 7月20日(土)
おいしいランチで異文化理解

JICA二本松青年海外協力隊訓練所で「食」のイベントを開催する。毎回すぐに満員になるほど大人気の企画、今回はパラグアイ料理を食べながら、同国に派遣されたJICA海外協力隊経験者から現地の生活や文化の話聞くことができる。希望者は二本松訓練所の見学ツアーや、JICA海外協力隊員との個別相談もできる。

●おいしく学ぶ、世界の暮らし～パラグアイ編～
日時：2019年7月20日(土) 12:00～14:30
トークランチ12:30～13:30
会場：JICA二本松青年海外協力隊訓練所
福島県二本松市永田字長坂4-2

参加費700円
(レシピのお土産付き)、
要事前申し込み。
詳細はJICA二本松まで。

申し込み、
詳細はこちら



*写真はイメージです。

なごや地球ひろば(JICA中部)

7月27日(土)～28日(日)
8月3日(土) 親子で楽しく
国際協力を学ぼう

毎年参加者から好評を得ている夏休み親子イベント。高学年の部は1泊2日でSDGsや国際理解に関するワークショップ、国際交流プログラムに加え、外国の料理を味わえる夕食会などを実施。海外からの研修員が滞在するJICA中部の施設に宿泊する。低学年の部では、外国の遊びやゲームを通して楽しく国際協力について学ぶことができる。



●夏休み親子イベント
日時：(高学年の部) 2019年7月27日(土) 14:00～28日(日) 12:30(1泊2日)
(低学年の部) 2019年8月3日(土) 14:00～16:30
対象：(高学年の部) 小学4～6年生と保護者(2人1組)
(低学年の部) 小学1～3年生と保護者(2人1組)
会場：なごや地球ひろば(JICA中部) 2階セミナールーム
愛知県名古屋市中村区平池町4-60-7

高学年の部は参加費12,600円(2名分の宿泊費、朝食・夕食代含む)、低学年の部は参加費無料、定員各15組(30名)、要事前申し込み。詳細はなごや地球ひろば(JICA中部)まで。

申し込み、
詳細はこちら

JICA北海道(札幌)

7月28日(日)
隊員の生の声を聞こう

北海道出身・在住の青年海外協力隊員、シニア海外協力隊員の帰国報告会を実施する。今回の報告者は、ラオスで行政サービス向上のための活動をした隊員や、ボリビアの職業訓練校で映像制作コースの職員に技術指導を行った隊員、ウズベキスタンで合気道の指導や普及活動をしたシニア隊員たち。彼らと直接話すことができ、質問もできる。



●道産子ボランティアが見てきた開発途上国
～2019年夏 JICA海外協力隊 帰国報告会～
—笑顔で繋がる世界 Vol.2—
日時：2019年7月28日(日)
14:00～17:00(開場13:30)
会場：札幌国際プラザ3階 交流サロン
北海道札幌市中央区
北1条西3丁目札幌Mビル3階

入場無料、事前申し込み不要、入退室自由。
詳細はJICA北海道(札幌)まで。

申し込み、
詳細はこちら

JICA関西

5月22日(水)～9月1日(日)
鮮やかな色彩のアフリカンアート

JICA関西ではアフリカ開発会議(TICAD7)の応援企画として、タンザニアの現代アート「ティンガティンガ・アート」の原画やアフリカ民話の絵本原画の展示を開催中。東アフリカの布「カンガ」を着られる体験ブースや、手作りのアフリカ雑貨の展示コーナーも設けている。また、8月25日(日)に行われる「JICA関西夏祭り」では、ティンガティンガ画家を招いたペインティングや、アフリカ民話の読み聞かせのイベントも行う予定。

●「Twende Pamoja(トゥエンデ パモジャ)～共に、未来へ～」展
会期：2019年5月22日(水)～9月1日(日)
9:30～18:00
会場：JICA関西 1階ロビー
兵庫県神戸市中央区
脇浜海岸通1-5-2

入場無料、事前申し込み不要。
詳細はJICA関西まで。

申し込み、
詳細はこちら



JICA地球ひろば(市ヶ谷)

5月28日(火)～9月13日(金)
国際協力の体験型展示

「人間の安全保障」とは、人びとが安心して生きることができ、さらにその生活が人間らしいものであることを目指す概念。今回の基本展示では、貧困、保健、医療、紛争、教育、水など途上国が抱える問題を取り上げ、「見て」「聞いて」「さわって」体験しながら、人間の安全保障や国際協力についての理解を深めることができる。

●世界の幸せと悲しみ 人間の安全保障展
会期：2019年5月28日(火)～9月13日(金)
10:00～20:00(土・日・祝日は18:00閉館)
会場：JICA地球ひろば(市ヶ谷)
東京都新宿区市谷本村町10-5

入場無料、事前申し込み不要。
詳細はJICA地球ひろば(市ヶ谷)まで。

申し込み、
詳細はこちら



あわせて
こちらでも!



夏の限定イベント開催

地球ひろばの体験ゾーン内では、期間限定でうちわ作りの体験コーナーを設ける。うちわに折り紙を貼ったり、絵を描いたりして、世界に一つだけのオリジナルのうちわを作って省エネやエコにつなげよう。

●数量限定! 環境を考えてうちわを作ろう! 2019
会期：2019年7月20日(土)～
(うちわの材料がなくなり次第終了)
会場：JICA地球ひろば(市ヶ谷) 1階
体験ゾーン内

入場無料、参加費無料、
事前申し込み不要。
詳細はJICA地球ひろば(市ヶ谷)まで。

申し込み、
詳細はこちら



©2018 MoozFilms

『存在のない子供たち』
「両親を訴えたい。こんな世の中に僕を産んだから。両親を告訴する」という衝撃的なシーンから物語は始まる。中東の貧民窟に生まれた12歳の少年ゼインは、貧困によって学校に行かしてもらえず、両親が出生届を出さなかったため自分の誕生日も知らない。毎日路上で物を売るなど、朝から晩まで両親に働かされていた。唯一の支えだった妹が11歳で強制結婚させられ、怒りと悲しみから家を飛び出したゼインを待つのは、さらに過酷な現実だった。

監督はリサーチに3年を費やし、主人公ゼインをはじめキャストには役に似た境遇にいる人びとを起用している。フィクションでありながらも、彼らの心情をあらわにしたリアリティあふれる演技が胸を打つ。

ゼインの目を通して、貧困問題、育児放棄、移民問題などを照らし出す。

2018年/レバン・フランス/125分
監督・ナディーン・ラバキ
7月よりシネスイッチ銀座ほか全国で公開。



読者
プレゼント
p.38へ

メータオクリック支援の会編
渋谷敦志 写真、新泉社
2052円(税込)

「国境の医療者」
タイ北西部、ミャンマー国境の町で30年にわたり貧困層の患者に無償で診療を続ける「メータオクリック」。ここでは、難民や移民といった不安定な立場にある人たちが医療スタッフとして仕事に従事している。

本書はこのクリニックに国際医療ボランティアとして赴任した日本の医療従事者たち歴代7名が、10年にわたる現地での活動をリレー形式で綴ったエッセイ。彼らは生と死における不条理に戸惑い傷つきながらも、現地スタッフや患者と協働するなかで精神的な交歓を深め懸命に支援を続けた。

執筆者の多くは10代の頃に読書を通して「世界の現実」を知り、将来は国際ボランティアの世界で働く決意で医療職を目指したという。ちょっとした失敗談やぼのぼのとするエピソードも多数散りばめられており、国際支援の現場を身近に感じさせてくれる内容となっている。

パチオン!
本と映画の
新着情報